

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

施設名 山梨県笛吹川フルーツ公園

所管課 県土整備部 景観まちづくり室

指定管理者 笛吹川フルーツ公園マネージメントグループ

構成団体 株式会社アルプス、株式会社アメニス、株式会社東勝緑産

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人 山梨県公園公社	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	746,082,000
山梨市フルーツパーク 株式会社		H21.4.1	～	H26.3.31	5年	1,116,869,000
山梨市フルーツパーク 株式会社		H26.4.1	～	H31.3.31	5年	1,130,512,000
笛吹川フルーツ公園マネージメントグループ		H31.4.1	～	R5.3.31	4年	874,195,000

2 施設の概要

所在地	山梨市江曾原1488
設置年月日	平成7年10月7日
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例
設置目的	(1)都市公園としての①～④の機能を発揮すること ①遊び、憩いの場を提供すること ②防災拠点としての機能を発揮していくこと ③良好な緑地景観、環境を提供すること ④果樹にふれあう場を提供すること (2)主宰事業の実施を通じて、果樹に関すること等を学ぶ機会を提供すること (3)果樹の展示を通じて、果樹にふれあい、果樹を学ぶ場を提供すること
主な業務の内容	(1)公園施設(緑地含む)及び設置器具等の維持保全に関する業務 (2)有料施設の利用承認に関する業務 (3)生活環境の緑化、くだものの振興業務 (4)県が実施するイベント等への協力
主な施設内容 (定員等)	○公園面積 19.5ha ○施設の内容 ・フルーツミュージアム ①くだもの館(延床面積3,492㎡、鉄骨造+RC地上1階地下1階) ②わんぱくドーム(延床面積1,141㎡、鉄骨造+RC2階建) ③くだもの工房(延床面積1,825㎡、鉄骨造+RC地上3階地下1階) ・管理ヤード(管理棟193㎡、車庫・作業棟149㎡ RC造地上1階、管理温室524㎡ ガラスハウス) ・ステージ広場 ・入り口広場 ・遊具広場 ・水利用施設(噴水施設等) ・駐車場(第1～2)
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	平成25年3月15日 遊具を設置、展示物の一部を撤去しベビー休憩室を設置 工事金額85,000千円

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
収入合計	235,250,111	219,421,624	225,003,949	225,684,430	240,148,144	
支出合計	244,089,961	214,404,760	224,962,051	220,579,338	243,927,587	
収支差額	△ 8,839,850	5,016,864	41,898	5,105,092	△ 3,779,443	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
利用実績	478,043人	472,826人	333,409人	390,308人	463,942人	入場者数、 事業参加者数の合計
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえは満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和4年度)

運営目標の指標 > 利用者数 目標値:410,000人 → 実績値:463,942人
 指定管理期間4年目で、地域連携を3年で進められた結果として集大成期「さらなるワクワクを関わる人みんな」のテーマのもとに
 1) 地域を巻き込んだ取組みの一層の充実
 2) SDGsへの取組み強化
 3) 4年間の運営による課題整理とその先のビジョンの策定
 の3つの重点活動を設け、運営管理を行った。過去3年以上に、当たり前の維持管理や果樹振興事業の遂行はもちろんのこと、地域の方々と協業で実現するイベントを今まで以上に開催したり、その取組みを発信できる仕組みを整えたりした結果、様々なコロナによる規制はあるもののコロナ前に近い利用者数にまで戻し、目標達成することが出来た。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和4年度)

概ね事業計画どおり指定管理業務を実施しており、イベントにも創意工夫が数多く見られ、利用者からも非常に高い評価を得ている。
 維持管理に工夫をすることで利用者の憩いの場に繋がったほか、公園利用の促進に繋げる取り組みもみられ、非常に評価できる。
 コロナによる規制が残る中で様々な面に柔軟に対応し、施設の改修や地域と連携したイベント等にも積極的に取り組んだことで、公園を目的地とした来園者が非常に多くなった。
 また、都市公園における市民の憩いの場の提供のための事業、及び緑化の啓発・普及及びくだものに関する振興のための事業についても、目標値を大きく上回る実績となった。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和4年度)

都市公園としての維持管理業務の遂行はすべて計画通りに実施した。果樹振興・緑化啓蒙イベントも開催時のアンケート調査結果からも、利用者からの高い評価を得ることが出来た。
 維持管理においては、より一層果樹管理に力を入れ、観賞・展示用の栽培方法から、「美味しい」果物を作る栽培方法への移行が概ね完了し、園内で収穫された果実を4年間の指定管理期間内で最大限活用することが出来た。
 コロナによる規制を正しく理解し、利用者への徹底した周知や、イベント開催時のルールの徹底、グリーンゾーン制度の活用等を行った。施設改修や、地域の発案者と協業で開催するイベント(実行委員会形式)を開催することで、当園を目的地とした来園者が増加し、イベント等参加者数が過去3年と比べても増加した。
 スタッフにも「くだもの王国山梨を五感で楽しむテーマパーク」というコンセプトが浸透し、当園で働いていること、働いた結果、利用者が楽しんで喜んで笑顔になってくれることを最大の喜びと感じる状態を作ることが出来た。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

施設名 山梨県笛吹川フルーツ公園
 所管課 県土整備部 景観まちづくり室
 指定管理者 笛吹川フルーツ公園マネージメントグループ
 構成団体 株式会社アルプス、株式会社アメニス、株式会社東勝緑産

1 利用状況 (単位:人、%)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	公園利用者数	478,043	472,826	333,409	390,308	463,942
	(うち事業参加者数)	(63,256)	(75,094)	(35,563)	(112,924)	(163,287)
	利用者数合計	478,043	472,826	333,409	390,308	463,942
	目標値	470,000	450,000	300,000	350,000	410,000
	実績/目標割合	101.7%	105.1%	111.1%	111.5%	113.2%
	目標値の設定方法	令和元年度は、過去実績(平成30年度を含まず)より微増で設定。 令和2年度は、当初目標より新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み目標を年度中に下方修正。 令和3年度35万人=コロナ禍でない状態のR3年度目標人数(49万人)×減少率(65.8%)＋工夫による増加人数(3万人)で設定。 令和4年度41万人=コロナ禍でない状態のR4年度目標人数(50万人)×減少率(77.5%)=R3年度着地予想÷R3年度当初目標)＋工夫による増加人数(2万人)で設定。				
利用率	稼働率等(利用率)	1,310人/日	1,295人/日	913人/日	1,069人/日	1,271人/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数/営業日数(公園)				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	(1)山梨県御勅使南公園
----------	--------------

3 補修工事等の状況(令和4年度) (単位:円)

県 くだもの工房建物改修工事	195,470,000
県 屋外ステージ噴水設備改修工事 外6件	296,909,800
管 アクアアスレチックろ過装置ろ過材交換工事	590,000
管 アクアアスレチックろ過装置電磁弁交換洗浄工事	511,500
管 屋外便所・フルーツアドベンチャー周辺園路補修工事 外39件	4,374,077

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和4年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
17	随意契約	売上額の20%	2,707,485	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	魚つかみ取り&炭火焼事業	一般	ウォーターガーデン
2	レストラン事業	一般	くだもの工房
3	カフェテリア事業	一般	くだもの広場
4	売店事業	一般	くだもの工房
5	BBQ事業	一般	入口広場

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

7 利用者満足度

実施方法等	実施時期:令和4年4月～令和5年3月 実施方法:公園利用者へのアンケート及びQRコードによるWebアンケート 回答数:2,546枚			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
樹木や芝生の管理状況	79.2%	19.7%	0.6%	0.5%
トイレや休憩所の清潔さ	66.6%	28.9%	3.1%	1.4%
施設(ベンチや園路等)の利用しやすさ	68.7%	26.8%	3.7%	0.8%
園内外の案内(サイン等)、情報のわかりやすさ	63.7%	30.9%	4.6%	0.8%
防犯や安全性(遊具等含む)	66.2%	30.5%	2.2%	1.1%
スタッフの対応	72.5%	25.3%	1.5%	0.7%
催し物・イベント等の充実度	77.4%	21.0%	0.9%	0.7%
施設全般の満足度	77.4%	21.0%	0.9%	0.7%
利用者の主な意見	【樹木や芝生の管理状況／トイレや休憩所の清潔さ／施設の利用のしやすさ】 ・とてもきれいに管理されています。 ・以前よりも施設の手入れが行き届いているように思います。 ・駐車場を増やしてほしい。 ・日影が増えると嬉しい。 【園内外の案内、情報のわかりやすさ】 ・イベントなどの詳細が知りたい。 【スタッフの対応】 ・スタッフの方がやさしく親切だった。 【催し物・イベント等の充実度】 ・季節ごとのイベントが毎回楽しみです。 ・素敵なイベントたくさんで大好きです。			
利用者の意見への対応	【樹木や芝生の管理状況／トイレや休憩所の清潔さ／施設の利用のしやすさ】 ・駐車場の増設 → 県と協議を進めた。 ・日影がほしい → 県が四阿を設置した。 【園内外の案内、情報のわかりやすさ】 ・Web、SNS、フリーマガジン、メディア露出等、様々な手法を使い、イベント詳細を告知できる工夫をした。			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>計画した点検や日常の施設巡回を徹底することは当たり前を実施出来た。植栽管理においては花壇の植付の工夫で写真を撮っているお客様が増えた。果樹管理においては美味しい果物を作るための栽培を行うことでイベントでの食べておいしい、採って楽しいを創出することが出来た。</p> <p>ただ「維持」するのではなく、業務内容を見直しながら「向上」を目指し、来園目的となる仕組み作りが出来た。</p>	<p>利用者の憩いの場にも繋がるような、確実な維持管理を実施できており、来園者からも非常に高い評価を受けた。</p> <p>また、園内生産果実をイベント等で有効利用できるよう適切な果樹管理に努めた。</p>
運營業務	<p>季節ごと果物を五感で楽しめる機会を多く創り上げ、果樹振興を目的としたイベントが中心ではあるものの、コンテンツ企画立案や出店や商品仕入など地域とも連携したイベントを増加出来、参加いただいたお客様から非常に好評をいただいている。遠足のアテンド、フリーマガジン「かおる」、公園お助け隊等、くだもの王国山梨に自信と誇りを感じていただける機会も作る事が出来た。</p> <p>さらにDXを推進するような取り組み(Webアンケート、Webイベント予約)も出来た。</p>	<p>公園の特性を活かした果樹振興イベントの開催や地域と連携したイベントの実施により、果樹へのふれあいの場の提供や利用者の楽しみの場の提供に努めた。</p> <p>多種多様なイベント開催もあり、県外からの来園者も非常に多く、県内のみならずフルーツ公園の知名度が高まった。</p>
利用状況	<p>当園を目的地としての来園が増加したように感じた。利用者数の目標も達成出来た。</p> <p>利用を促す毎週末「なにかやっている公園」という認知が進み、家族連れを中心に来園者を増加することが出来た。</p> <p>有料施設においても、前年以上に各施設を利用してもらえるよう、検討している利用者の方に寄り添った提案を行えた。</p>	<p>週末を中心に、県内外から多くの利用者が訪れ、公園には活気があふれていた。</p> <p>有料施設を利用していただけるような丁寧な提案等により、施設利用者数も前年度と比較し、大きく増加した。</p>
収支状況	<p>電気代高騰につき、指定管理料増額での収入増があった。予算に対しての執行率も概ね計画通りに管理出来た。</p>	<p>支出において光熱水費や人件費が増加する結果となったが、修繕費や広告費を削減することで、最小限の支出に留めるよう努めた。</p>
自主事業	<p>持ち込みイベントも積極的に関与(Web告知、備品貸出、企画相談)し利用促進につながった。</p> <p>県産果物を使ったレストランやカフェ、県産土産品や自分へのご褒美品、さらには充実したワインのラインナップを取り揃える売店、新たな利用促進につながっているBBQレストランなど、営業施設も積極的な活動を行えた。魚つかみ取りは、参加制限やマスク着用、手洗い・消毒、受付簿作成等のコロナ対策を行いながら開催することができ、主要な来園目的となった。</p>	<p>SNSを活用した積極的な情報発信を行い、公園や地域の特性を活かした自主事業を実施したことにより、利用者数の増加に貢献した。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

<p>利用者満足度</p>	<p>「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が98.3%と高水準を維持出来た。「どちらかといえば満足」、以上に「満足」の評価を毎年増加させることが出来た。 週1回のリーダー会議ではアンケート内容を常に共有し、些細な要望などにも積極的にスピード感をもって改善に努めた結果だと考えている。</p>	<p>日常点検や清掃、多数のイベントの開催等、適切に管理運営を行ったことで、利用者から高い満足度を得た。</p>
---------------	---	--

9 施設所管課による定期評価結果

<p>施策推進業務の内容</p>	<p>評価</p>	<p>改善内容</p>
<p>都市公園における県民の憩いの場の提供</p>	<p>都市公園における県民の憩いの場の提供のため、公園施設(屋内研修施設、料理教室、作業室)の年間利用者数を評価指針として設定。 年間利用者数は7,540人となり、目標値2,413人を上回る結果となった。</p>	<p>引き続きHPの充実や地域との連携、柔軟な対応を行い、多くの方に公園施設を利用してもらえるような取り組みを行うこと。</p>
<p>緑化の啓発・普及及びくだものに関する振興業務</p>	<p>緑化の啓発・普及及びくだものに関する振興のため、果実及び緑化に関する催しの年間参加者数を評価指針として設定。 年間参加者数は163,287人となり、目標値112,924人を上回る結果となった。</p>	<p>引き続き魅力ある催しを実施し、更なる利用者の満足度向上に繋げてほしい。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和4年4月1日現在

